

2025年度 共同利用採択一覧【特定共同研究(A)(A-01~A03)】

No.	課題番号	付表の 番号	研究 代表者名	代表者名	担当教員	担当教員	研究課題
1	2025-A-01	-	大邑 潤三	-	地震研究所	大邑潤三	歴史地震・噴火に関する分野横断的なデータベースとコミュニティカタログの構築
2	2025-A-02	-	大林 政行	-	海洋研究開発機構	清水 久芳	地球深部の構造とダイナミクス
3	2025-A-03	A	長尾 大道	伊藤 伸一	東京大学・地震研究所	長尾 大道	人工知能と自然知能の対話・協働による地震研究の新展開：サブ課題(A)人工知能技術の活用による地震波形データ解析手法の開発研究
4	2025-A-03	B	長尾 大道	寺田 吉壺	大阪大学・大学院基礎工学研究科	長尾 大道	人工知能と自然知能の対話・協働による地震研究の新展開：サブ課題(B)最先端ベイズ統計学の活用による地震モデリング手法の開発研究

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

2025年度 共同利用採択一覧 【特定共同研究(B)】

No.	課題番号	新規 継続 最終年度	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2023-B-01	最終年度	平賀 岳彦	東京大学・地震研究所	平賀 岳彦	地殻・マントル物性を明らかにするための実験基準試料の合成とその配布
2	2023-B-02	最終年度	大園 真子	北海道大学・大学院理学研究院	青木 陽介	超稠密GNSS観測による地球科学への応用研究
3	2023-B-03	最終年度	大久保 慎人	高知大学・自然科学系理工学部門	新谷 昌人	超精密地球物理観測記録の分野横断的活用
4	2024-B-01	継続	板野 敬太	秋田大学・大学院理工学研究科	長尾 大道	データサイエンスを活用した地球物理・化学データ解析とモデリングの精緻化
5	2024-B-02	継続	木下 陽平	筑波大学・システム情報系	青木 陽介	新旧世代を統合したSAR観測による地表変動研究
6	2024-B-03	継続	長谷川 健	茨城大学・大学院理工学研究科	岩森 光	火山湖ガス災害対策に向けた複合型マールの地質学的・地球化学的国際共同研究
7	2024-B-04	継続	山田 昌樹	信州大学・理学部	三反畑 修	日本海西部～九州地方北西部における過去数千年間の地震・津波履歴の解明
8	2024-B-05	継続	桑野 修	海洋研究開発機構	市原 美恵	複雑流体の流動-破壊遷移解明のためのモニタリング手法開発

No.	課題番号	新規 継続 最終年度	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
9	2025-B-01	新規	縣 亮一郎	海洋研究開発機構	伊藤 伸一	科学的機械学習（SciML）による固体地球科学の加速
10	2025-B-02	新規	吉田 健太	海洋研究開発機構	前野 深	分野横断研究により切り拓く西之島研究の最前線
11	2025-B-03	新規	風間 卓仁	京都大学・大学院 理学研究科	今西 祐一	マルチスケール重力観測に基づく活動的火山内部の質量時空間 変動の包括的理解

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

2025年度 共同利用採択一覧 【特定共同研究(C)】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	担当教員
-	-	-	-	-	今年度は実施課題がありません。

2025年度 共同利用採択一覧 【一般共同研究】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2025-G-01	岩田 尚能	山形大学・理学部	三浦 弥生	第四紀火山岩類のK-Ar年代測定にむけたアルゴン同位体分析装置の整備と動作確認
2	2025-G-02	下田 智文	産業技術総合研究所	新谷 昌人	振動加速度一次標準にトレーサブルな広帯域地震計感度の校正手法の開発
3	2025-G-03	村瀬 雅之	日本大学・文理学部 地球科学科	青木 陽介	水準測量・キャンペーンGNSSを用いた箱根火山浅部の圧力源と熱水活動の解明
4	2025-G-04	佐藤 雅彦	東京理科大学・理学部 第一部物理学科	鈴木 雄治郎	善光寺岩屑なだれの発生機構解明に向けた有珠湾周辺に分布する巨礫の磁気測定研究
5	2025-G-05	松野 哲男	神戸大学・海洋底探査センター	馬場 聖至	海洋リソスフェア-アセノスフェアシステム、特にアセノスフェアの粘性率を制約する海底電磁気観測研究
6	2025-G-06	中村 仁美	産業技術総合研究所	岩森 光	阿蘇火口湖水の化学組成から探る活動期の水量変化の仕組み
7	2025-G-07	横山 哲也	東京科学大学・理学院 地球惑星科学系	岩森 光	カメルーン火山列におけるHIMUリザーバーの同位体的進化：全球マントル循環への示唆

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

2025年度 共同利用採択一覧 【研究集会】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	研究集会名	開催予定日
1	2025-W-01	山田 真澄	京都大学・防災研究所	鶴岡 弘	地震のリアルタイムモニタリングと即時予測情報の利活用	2026年1月
2	2025-W-02	利根川 貴志	海洋研究開発機構	武村 俊介	多様な地震現象とその発生メカニズム・発生場の包括的理解	2025年9月25日～9月27日
3	2025-W-03	山田 昌樹	信州大学・理学部理学科地球学コース	三反畑 修	2025年度津波堆積物研究会	2025年8月～10月頃の3日間
4	2025-W-04	本多 亮	神奈川県温泉地学研究所	鶴岡 弘	古記録の保全と利活用	2025年7月または8月の2日間
5	2025-W-05	高木 涼太	東北大学・大学院理学研究科	西田 究	超高密度多点地震観測と波動研究による日本列島解像論	2025年9月～12月の2日間
6	2025-W-06	鈴木 雄治郎	東京大学・地震研究所	鈴木 雄治郎	火山現象のダイナミクス・素過程研究	2025年11月～2026年3月の1日間または2日間
7	2025-W-07	森田 雅明	東京大学・地震研究所	森田 雅明	IAVCEI/CCVG The 15th Gas Workshop, Hokkaido, Japan	2025年8月28日～9月7日(本会議：2025年8月31日～9月7日)

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

2025年度 共同利用採択一覧 【地震・火山噴火の解明と予測に関する研究】

No.	課題番号	継続/ 新規	代表者名	担当教員	研究課題
1	2024-KOBO03	継続	織原 義明	東京学芸大学・教育学部	宏観異常現象のデータ化と地震との関係
2	2024-KOBO06	継続	知北 和久	北海道大学・北極域研究センター	鳴子火山・潟沼における地下熱水系の動的変動に関する研究
3	2024-KOBO07	継続	佐野 恭平	兵庫県立大学・大学院 地域資源マネジメント研究科	北海道雌阿寒岳火山を対象にした軽石の放射光分析に基づく火砕流発生過程の解明
4	2024-KOBO08	継続	網田 和宏	秋田大学・大学院 理工学研究科	カルデラ大深湖の熱源構造に関する比較研究：青森県・十和田湖と秋田県・田沢湖
5	2024-KOBO09	継続	佐藤 鋭一	北海道教育大学	富良野-旭川地域に分布する大規模火砕流堆積物の岩石学的な対比と分布範囲の推定
6	2024-KOBO10	継続	嶋野 岳人	鹿児島大学・大学院 理工学研究科	火山灰を用いた火道周辺および噴火様式情報の時系列観測手法の開発
7	2024-KOBO11	継続	石辺 岳男	地震予知総合研究振興会・地震調査研究センター	史料中の有感記録の完全性・均質性を考慮した歴史時代の地震活動解析
8	2024-KOBO12	継続	横田 裕輔	東京大学・生産技術研究所	GNSS-A観測における音響機器特性の解明
9	2024-KOBO14	継続	並木 敦子	名古屋大学・大学院 環境学研究科	噴石の解析による水蒸気噴火を起こす火道形成プロセスの解明

No.	課題番号	継続/ 新規	代表者名	担当教員	研究課題
10	2024-KOBO15	継続	石須 慶一	兵庫県立大学・理学研究科	草津白根山の地下比抵抗の時空間変化の検出
11	2024-KOBO16	継続	谷口 無我	気象研究所・火山研究部第三研究室	水蒸気噴火が懸念される火山の盛衰を測る：火山性流体の化学観測とその効率化
12	2024-KOBO17	継続	伴 雅雄	山形大学・理学部	蔵王山におけるマグマによる熱水系の溶融現象及びその現象が噴火の特性に及ぼす影響の解明
13	2025-KOBO18	新規	市原 寛	名古屋大学・大学院 環境学研究科	日高衝突帯付近の内陸地震発生域における比抵抗構造の解明
14	2025-KOBO19	新規	角野 浩史	東京大学・先端科学技術研究 センター	南海トラフ巨大地震想定震源域近くの温泉・地下水のヘリウム同位体比を指標とした 深部起源流体の研究

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

2025年度 共同利用採択一覧 【高エネルギー素粒子地球物理学公募研究】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	担当教員
1	2025-H-01	津野 総司	鹿児島工業高等専門学校・情報工学科	田中 宏幸	ミュオメトリによる桜島火山内部地中変動の精密測定に向けた実証試験
2	2025-H-02	和田 有希	大阪大学・大学院工学研究科	田中 宏幸	ミュオンによる高層大気圧計測の緯度経度による依存性検証
3	2025-H-03	松島 潤	東京大学・大学院新領域創成科学研究科環境システム学専攻	田中 宏幸	室内実験スケールでのミュオンと弾性波の融合測定：孔隙性媒体におけるガス飽和率と弾性定数の推定 (Combined measurement of muons and elastic waves on a laboratory scale)
4	2025-H-04	Dezso Varga	High Energy Physics Dept., Wigner Research Centre for Physics	田中 宏幸	Muography imaging instrumentation for applications in geophysics and human infrastructure
5	2025-H-05	Giancarlo Cerretto	Istituto Nazionale di Ricerca Metrologica (INRIM)	田中 宏幸	CTS (Cosmic Time Synchronizer) for Time Metrology applications

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

2025年度 共同利用採択一覧 【大型計算機共同利用公募研究】

No.	課題番号	代表者名	所属機関	担当教員	担当教員	研究課題
1	2025-S-B101	馬場 俊孝	徳島大学・大学院社会産業理工学研究部	B大型研究	三反畑 修	データ解析とシミュレーションによる非地震性津波の予測の高度化
2	2025-S-B102	江本 賢太郎	九州大学・大学院理学研究院	B大型研究	武村俊介	大規模地震動シミュレーションを活かした地震像の解明
3	2025-S-B103	松澤 孝紀	防災科学技術研究所	B大型研究	武村俊介	大規模シミュレーションによるSlow-to-Fast地震のモデル構築・再現・予測
4	2025-S-B104	竹中 博士	岡山大学・学術研究院環境生命自然科学学域	B大型研究	古村 孝志	南西諸島海溝付近の付加帯を含む地盤モデル改良の検討のための地震波動計算の進展
5	2025-S-C101	丸石 崇史	防災科学技術研究所	C挑戦的研究	-	粘塑性レオロジーを考慮した溶岩流の大規模数値モデルの開発研究
6	2025-S-C102	鈴木 雄治郎	東京大学・地震研究所	C挑戦的研究	-	火山噴煙ダイナミクスの大規模並列化数値モデルの開発研究
7	2025-S-C103	岩田 貴樹	県立広島大学・大学教育実践センター	C挑戦的研究	-	P波初動を用いた応力空間パターンの高度化
8	2025-S-C103	岩田 貴樹	県立広島大学・大学教育実践センター	C挑戦的研究	-	P波初動を用いた応力空間パターンの高度化
9	2025-S-C201	村松 和紀	東京大学大学院・理学系研究科	C挑戦的研究	-	中央構造線断層帯を対象とした準動的地震シークエンスシミュレーション
10	2025-S-C202	平野 喬之	神戸大学・理学研究科	C挑戦的研究	-	海底津波磁場データを用いたデータ同化による波高予測
11	2025-S-C203	中垣 達也	東京大学・地震研究所 地球計測系研究部門	C挑戦的研究	-	2022年フンガ-トンガ フンガ-ハアパイの噴火で発生した気象津波における最大振幅後続波の励起過程の解明

12	2025-S-B301	綿田 辰吾	東京大学・地震 研究所	B大型研究	-	波形と画像を利用した津波研究
13	2025-S-C301	石島 清宏	東京大学大学院 ・理学系研究科 地球惑星科学専 攻	C挑戦的研究	-	人工衛星を用いた宇宙からの津波研究

※現在の所属機関とは異なる可能性があります。

2025年度 国内客員教員一覧

No.	区分	氏名	所属・職名	担当教員	担当教員	期間
1	地震・火山噴火予知研究センター、 火山噴火予知研究協議会 推薦	おくむら きとし 奥村 聡	東北大学・大学院理学研究科 准教授	市原 美恵	地質・物質データの解析に基づく火山噴火に関する理論モデルの開発	12か月
2		かんだ わたる 神田 径	東京科学大学・総合研究院 准教授	大湊 隆雄	水蒸気噴火発生場の熱的状态把握	12か月
3		なかひがし かずお 中東 和夫	国立大学法人東京海洋大学・学術研究院 教授	大湊 隆雄	津波被害予測高度化に向けた海底地すべりに関する観測研究	12か月
4		ほんだ りょう 本多 亮	山梨県富士山科学研究所・富士山火山防災研究センター 主任研究員	行竹 洋平	火山観測技術の向上と観測高度化のための諸研究	12か月

2025年度 外国人客員教員招聘

No.	氏名	所属・職名	担当教員	研究課題	担当教員
1	Robert Christian VIESCA	Department of Civil and Environmental Engineering, Tufts University, USA Associate Professor	小澤 創	Mechanics of fault slip due to fluid sources	10か月
2	Yen Joe TAN	Earth and Environmental Sciences Programme, The Chinese University of Hong Kong, Hong Kong Assistant Professor	青木 陽介	Characterizing deep long-period volcanic earthquake activity in Japan	2か月
3	Ding-Jiun LIN	Department of Earth Science, National Central University, Taiwan Postdoctoral Researcher	馬場 聖至	Analyzing Electromagnetic Sounding with Ocean Bottom Electromagnetometers and Geomagnetic Observatories to Study the Electrical Structure beneath the Philippine Sea Plate and Pacific Plate	12か月
4	Kyle ANDERSON	Volcano Science Center, U.S. Geological Survey, USA Research Geophysicist	長尾 大道	Assimilation of diverse monitoring data to understand volcanic systems and forecast eruptions	8か月
5	Miao ZHANG	Department of Earth and Environmental Sciences, Dalhousie University, Canada Associate Professor	加藤 愛太郎	Advancing the Understanding of the Nucleation Process of the Noto Earthquake	6か月
6	Mathilde VERGNOL	CNRS (French National Centre for Scientific Research), Observatoire de la Côte d'Azur, Université de la Côte d'Azur, Géoazur department, France Senior CNRS Research Scientist	伊東 優治	Aseismic Slip and Aftershocks During the Very Early POSTseismic Deformation (VE-POST): Intensive High-Rate GNSS Position Time Series Processing and Slip Inversion	2か月
7	Reza DOKHT DOLATABADI ESFAHANI	ISTERRE, University of Grenoble Alpes, France Postdoctoral Researcher	西田 究	Advanced Seismic Data Processing for Continuous Seismograms Based on Deep Scattering Transformation	2か月

No.	氏名	所属・職名	担当教員	研究課題	担当教員
8	Lucas Samuel HOG	University of Auckland, New Zealand Senior Lecturer	楠 浩一	Use of Surrogate Machine Learning Models for Rapid Post-Earthquake Building Assessment	8か月
9	Morgan MOSCHET	US Geological Survey, USA Supervisory Research Geophysicist	三宅 弘恵	Investigating and modeling earthquake ground-motion variability	2か月
10	Asobo Nkengmatia Elvis Asaah	Department of Mines, Ministry of Mines, Industry and Technological Development (Yaoundé), Cameroon Senior Inspector	岩森 光	Isotope Evolution in high- μ (HIMU) Reservoirs beneath the Cameroon Volcanic Line: Implication for Global Mantle Recycling	5か月
11	Catherine A RYCHE	Geology and Geophysics, Woods Hole Oceanographic Institution, USA Associate Scientist with Tenure	一瀬 建日	Joint Inversion of Receiver Functions and Surface Waves for Crustal and Upper Mantle Structure Beneath the Ontong Java Plateau	10か月
12	Nicholas HARMON	Geology and Geophysics, Woods Hole Oceanographic Institution Research Specialist	塩原 肇	Seismic Attenuation Structure of the Ontong Java Plateau	5か月

※2025年1月31日現在の状況であり、今後変更となる可能性があります。